

経済産業委員会

平成27年8月31日（月）

午前10時00分～午後2時15分

議会第3会議室

【出席委員】重田音彦委員長、久米勝博副委員長、野中宣明委員、山田誠一郎委員、中野茂康委員、川原田裕明委員、千綿正明委員、中山重俊委員、嘉村弘和委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

・交通局 眞子交通局長 ほか、関係職員

【案件】

・付託議案について（決算議案審査）

○重田委員長

おはようございます。ただいまから経済産業委員会を開催いたします。

それでは、最初に4常任委員会による連合審査会の開催についてお諮りします。

第64号議案 平成26年度佐賀市一般会計歳入歳出決算中、歳入全款の審査については、当委員会の付託議案とも関連がありますので、佐賀市議会会議規則第103条の規定に基づき、連合審査会を開催して審査したいと思いますのですが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議ないようですので、第64号議案中、歳入全款の審査については、連合審査会を開催することに決定いたしました。

次に、決算議案の審査日程についてでございますが、先ほど決定いたしました連合審査会を含めまして、お手元に配付しております審査日程案で進めたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議ないようですので、この審査日程どおり当委員会に付託されました議案については審査したいと思います。

なお、決算審査における執行部の説明については、お手元に配付しております決算審査（常任委員会）での説明要領等にて周知されておりますので、事前に御確認をお願いいたします。

それから、連合審査会時の席次についてですが、正副委員長協議の上、お配りしている席次表のとおりいたしたいと思いますのですが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議ないようですので、ここで一旦、経済産業委員会は休憩といたします。

連合審査会后、再開して、引き続き決算審査を行いますので、よろしくお願ひします。

それでは、今、決定いただいたとおり、4常任委員会での連合審査会を午前10時10分から開催いたしますので、大会議室に移動をお願いいたします。よろしくお願ひします。

◎午前10時04分～午後1時30分 休憩（4常任委員会連合審査会開催）

○重田委員長

ただいまから経済産業委員会を再開いたします。

マイクのボタン等についての取り扱いは今までどおりですので、いいですね。

執行部のほうは、答弁するときは挙手の上お願ひいたします。

次に、審査における注意事項を申し上げます。

執行部におかれましては、限られた時間で集中的な審議が必要ですので、簡潔な説明を心がけてください。

なお、決算額の数字の読み上げは必要ありません。

また、答弁は役職にかかわらず、質問に対して回答できる方が答弁していただくようお願ひいたします。

次に、委員の皆さんに申し上げます。

質疑は決算審査ですので、その範囲内でよろしくお願ひします。

特に市政一般や予算に関する質問にならないようお願いいたします。

また、一度に多くの質問をされますと答弁がわかりにくくなります。質問される場合は、資料におけるページ数などで質疑項目の該当箇所を示していただき、1回の質問について2問くらいに絞っていただければと思います。

審査に関連して現地視察の希望がございましたら、マイクロバスの都合もありますので、お早目にお申し出ください。

それでは、審査に入りたいと思います。

第68号議案 平成26年度佐賀市自動車運送事業会計決算について、執行部からの説明を求めます。

◎第68号議案 平成26年度佐賀市自動車運送事業会計決算 説明

○重田委員長

執行部から説明がありましたが、委員の皆さんの質疑を受けたいと思います。

○山田委員

事業報告の説明の中で、バスの上屋を6カ所整備したとあります。

実際工事内容では5カ所、5基ということなんですが、このことについて説明をいただきたいと思います。

○交通局総務課参事兼副課長兼庶務経理係長

バスの5基につきましては決算書に記載のとおりですが、あと1基につきましては、宝く

じの助成金をいただきまして、公営交通事業協会から寄贈をいただいて、1カ所整備いたしております。

○山田委員

そしたら、いつも予定では、バスの上屋は5カ所ずつずっとふやしていくということだったんですが、今回は寄附があつて1カ所ふえたということなんですね。

それともう1つ、前回は野中委員から御指摘あつた、例年どおり400万円ぐらいの金額でいつも上屋を整備されているんですが、これをもう少し安くして、ふやすとか、そういう努力をしていただきたいということだったんですが、そのことはどうなったのか、この平成26年度決算でですね。

○龍交通局副局長兼総務課長

平成26年度の契約に関しては、それまで複数の事業者から見積もりをとって、一番安いところと契約してはきましたが、平成26年度につきましては、初めて設計書を組みまして、入札をいたしております。

発注に際しましては、原則一番安い業者と契約をするというのはもちろんなんですけども、今後ですけども、設置バス停の利用者の人数に応じて標準サイズよりも少し小さな上屋を設置したりとか、附帯工事、例えば乗りおりしやすいように、縁石ー車道と歩道の間にブロックー車が突っ込まないように、20センチぐらいのブロックがありますけども、そこは上屋を設置する場合は切り下げ工事を、それも通常は、私どものほうでやっておりますけども、例えばその工事を道路管理者のほうにお願いしてしていただければその分の工事費が浮きますので、そういったいろんな工夫をして、今後、1カ所当たりの工事費を安く上げていきたいなというふうに考えております。

○千綿委員

事故費のところなんですけど、保険給付費と200万円ぐらい差がありますよね。

だから、本来、こっちに過失があつたということの理解でいいのかどうかということと、過失割合のおかげなのかということと、もう1点ですね、22ページに著作権の残高というのがあるんですけども、商標権と著作権について、もし説明できればしていただきたいということ、とりあえず2点お願いします。

○交通局総務課参事兼副課長兼庶務経理係長

まず、最初の事故費と給付金との差があるということですが、給付金につきましては示談が終了した後にお金が入ってきますので、本来は年度内に示談が終了すれば、ほぼ同額です。

ただ、今回は1件人身事故関係で、年度を越して示談がなされた、つい先日、終わった分がございませぬのも人身事故だったものですから、その分若干差が出ております。

それと著作権の分なんですけど、実は市営バスにはマスコットキャラクターがおりまして、御存じかどうかわかりませんが、その分については実は商標登録をいたしておりますので、

その分の金額を計上いたしております。

○千綿委員

それと、多分平成26年度だったと思うんですが、十勝バスが増益になったという話があって、ぜひそういったところに行って、やはり、どういった要因でそうなったのかということ勉強してこべきじゃないかと思って言ったと思いますが、平成26年度にそういった動きをされたのかどうかちょっとお尋ねします。

○眞子交通局長

十勝バスについて、昨年度お話がありました。

それで、私どもも十勝バスにつきましては、「ノリのりきっぷ」を4年、5年前ですかね、中高生「ノリのりきっぷ」をするときには十勝バスを参考にしました。

それから、今、乗り方教室について、バスを実際に持って行って乗ってもらおうということちょっと説明をしましたが、それも十勝バスの社長さんが、要するに地元の人たちが不安があると、乗ることに対して不安があるということで、そういうところも今回取り入れました。

それから、どのくらい前ですかね、十勝バスの社長さんが講演にお見えになったときに話を聞いて、いろいろとやっぱりいいところは取り入れようということで、今、頑張っているところです。

○中山委員

2点ほど、1つは75歳以上の助成から70歳以上になった中で、報告があったかもわかりませんが、増収はどれくらいになったのかというのが1つ。

それから、もう1つは中学生の「ノリのりきっぷ」が小学生までになったという形で、その増収はどんなふうになったのか。

○龍交通局副局長兼総務課長

まず、1点目のシルバーパスの助成対象年齢引き下げの効果ということでございます。

この効果を調べるために今年度の購入者で70歳から74歳までの購入者の方から無作為抽出をして、1,300名の方にアンケート調査を行いました。

内容としては、パス券を買う前と買った後の市営バスの利用状況をお尋ねいたしております。

その結果、1,300名のうち863名、約66%の方から回答をいただきました。

それで効果額が出ておりますが、これは今年度購入者ということで、その結果をもとに平成26年度に70歳から74歳まででパスを買われました約2,700名の方にこの結果を置きかえますと、約1,200万円の増収があったものというふうに分析をいたしております。

それから、あと1点ですけれども、「ノリのりきっぷ」の小学生の購入状況でございます。

小学生の外出については、もともと子ども同士で校区外に出てはいけないという校則が

ございまして、ですからスタート時は、本当は小学生を対象にしたかったんですが、スタート時はそういうことがありましたので、見送っておりましたが、平成26年度につきましては、その点に関して教育委員会のほうとも協議調整ができましたので、初めて昨年度から小学生対象で販売をしております。

その実績でございますけども、夏休みについては105枚、冬休みについては57枚ということで、ちなみに全体の数ですけども、夏休みは小学生を含んで683枚、同じく冬休み、小学生の57枚を含んで336枚というふうな状況でございます。

○千綿委員

先ほどシルバーパスで1,200万円ぐらいの増収になったということなんですが、乗車人口はそんなにふえていないですね。

ということは、今までお金を出して乗られていた方がパスを買われたという理解でいいのかどうか、そこら辺について説明いただきたいのですが。

○龍交通局副局長兼総務課長

アンケートの中では、そういうことも具体的な数字でお聞きしております。

ですから、それまで定額払っておられた方ももちろんおられますし、このパスが買えるようになったから乗るようになったという方もございます。

○重田委員長

ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ほかに質疑がないようですので、本日の決算議案審査を終了いたします。

交通局の職員は退室していただいて結構です。

◎執行部退室

○重田委員長

それでは、本日の決算議案審査に関して、現地視察の御希望はございますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、現地視察はないということで決定いたします。

そして、委員会から執行部に対して、意見・提言を行うべき案件について協議を行いたいと思います。

本日の決算議案審査において委員会としての意見・提言を取りまとめる案件の候補として、さらに協議・検討が必要な案件はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

そしたら、交通局については、その必要がないということで決めたいと思いますので、よろしくをお願いします。

そして、明日、9月1日の委員会は9時からにしております。10時ではありません。あしたは経済部でボリュームがあると思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、本日の委員会を終わります。どうもお疲れさまでした。